恐しい農薬事故

―正しい取り扱いを―

農薬がさかんに使われる時期になりました。パラチオンやホリドールなどの農薬は害虫駆除にはすばらしい効果を発揮し、農作業には欠くことのできないものです。

しかし、毒性がたいへん強いため、これを自殺に使ったり、あるいは使用する際の不注意から、毎年たくさんの事故が起つています。みんなの力で、農薬による事故をすこしでも少なくするように努めましょう。

事故の原因

農薬による事故には自殺、殺人、過失による中毒などがあります。なかでも、いちばん多いのは自殺です。

農薬のなかでも、パラチオンやホリドールなどは、指定された特定の団体（農協など）でなければ、取り扱うことはできません。また、資格を持つた人（防除指導員）の指導がなければ、勝手に使用することも、保管することもできないことになつています。しかし、現実にはパラチオン、ホリドールなどによる事故が非常に多いのです。

パラチオン、ホリドールなどの使い残りを勝手に家に持ち返つて保管していたり、個人で買うことのできるマラソンなどの農薬を必要以上にたくさん買つて、保管上の注意を欠いたことが、思いもかけぬ大きな事故の原因になつているようです。

事故を防ぐには

◎農薬は、おそろしい事故の原因になりますので、個人の家においたり、個人で勝手に持つことができないことになつています。

農薬の使用は、資格をもつた人に頼みましょう。

応急手当は

① 皮膚についたときは、すぐ石けんで洗うこと。衣服の上からこぼしたときは、すぐ下着まで全部ぬがせ、石けんで全身をよく洗うこと。

② あやまつて農薬が口には入つたときは、よくうがいをしたあとで、水か食塩水を飲ませ、よく洗つた指をのどにつつこんでその水をはかせ、これをくり返し、胃の中のものを全部はかせるようにする。

③ 呼吸が弱くなつてきたら人工呼吸を行なうようにして下さい。

以上の応急手当をしながら、すぐに医者か、もよりの保健所に連絡してください。

„農薬事故は、農村の恥です。町から、農薬事故をなくしましょう。“

夏休みの子供の指導

7月は、多くの学校が夏休みに入る時期です。夏休みは期間が長く、学習上でも、健康上もあまりよい期節ではありません。したがつて、家庭では他の休暇とちがう、次のような配慮が必要です。

① 学習については、無理な計画をしないことです。宿題は毎日の分を、確実にやることが第一で、通学時にはできないような継続的な実験、観察、製作などや、まとまつた読み物の読書をすすめて、個性や特技を伸ばすべきです。

② 健康については、暴飲暴食をしないようにし、手足を清潔にし、日射病、伝染病などの予防を考慮することです。また、校医から注意を受けている疾患を、休暇中に治療しておき、平素の体力を考えてできるだけ身体を鍛えるとともに、危険防止、安全の保持に十分配慮を払うことです。

③ 生活指導では、放任や無関心となることのないようにして、交友関係についてよく承知しておくようにすることです。また、言動や持ち物にも絶えず注意して、自分の行為に責任をもたせるように仕向ける指導を心がけ、ふしだらな生活におちいらせないように努力をすることです。

伝染病に注意

伝染病にかかりやすい時期です。くさつた食べ物を食べたり、食べ過ぎ、なま水の飲み過ぎは絶体にやめましょう

▲夏まけしやすい時期になりました。これは、温度や湿気や気圧の変化という刺激が、からだの働きの調和を乱すためです。

健康な人でもだるい時期なのですから、病人にとつては、つゆのあとの急に照りつけるお天気は、なおのこと負担になります。わかりきつたことですが室内の風通しをよくし、まくらべの整頓をしてあげます。扇風機は直接当てずに、一度壁に風を当ててから戻つてくるようにすると、広い範囲に刺激の少ない風がきます。また、ガラスの器やコシプに、野山や庭の花を一輪ポツカリ浮かべると、涼し気な上にとつてもきれいです。

広報のしおり

衣

▲暑いからといつて裸は逆効果。真黒に日焼けして健康そうだとはいいますが、実際にはシヤツ一枚でも着ていたほうが健康によいのです。汗を吸い取つたり、日光の直射から守つてくれたりします。

ことに赤ちやんは、暑いからと裸にさせておくとかえつてアセモができます。からだも小さく、いくらも布地がいらないのです。ひまをみて、余分に縫つておいてやりましよう。

また、赤ちやんは、寝つく時などにビツショリと汗をかいています。寝かせるに、ガーゼとか薄地のタオルを背中に当ててやり、眠つてからそつと抜き取るようにすると、わざわざ着替えをさせなくともすみます。

食

▲夏はとかく食欲がすすみません。目先の変わつたご馳走を作るのも一つの手段ですが、毎日飲むみそしるをおいしく作つてみると、ついお代わりということになつて、お年寄りにも子どもにも喜ばれます。

それには、ダシのとり方が大事です。

煮干しは、細かくして、水のときから入れて、沸騰したら取り出します。ことに煮干しをいきなり熱湯の中にいれますと、たん白質が熱でかたまつて、煮干しの成分が湯の中に溶け出さないので、ダシの役目がうすれてしまいます。

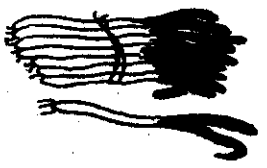
反対にカツオブシは、みそしるの中のみがやわらかくなつたときに入れて、すぐ火を止めるようにすると風味が消えません。カツオブシの場合は、カツオブシの風味を味わうものですから、しるの中に成分が溶け出さないように、できあがる間際に入れたほうがよいのです。

ひとり当りの分量は、煮干しなら二本、カツオブシなら一つまみぐらいが普通です。

住

▲涼しく暮らすためにフスマや障子を取りはずし、スダレやカーテンに変えてみましよう。取りはずしたものは一カ所に取りまとめ、秋にまごつかないようにします。

暑いからと戸締りにわざと手を抜いて夜中にあけ放しておくと、盗難や、凶悪犯に襲われるもとになります。雨戸とか、ガラスの一、二カ所に通風穴を作つて防虫網をつければ、それが戸締りの役目もしてくれますし、涼しい風が入つてきます。ただし、電燈をつけつぱなしにしておくと外から丸見えですから、必ず消しましよう。



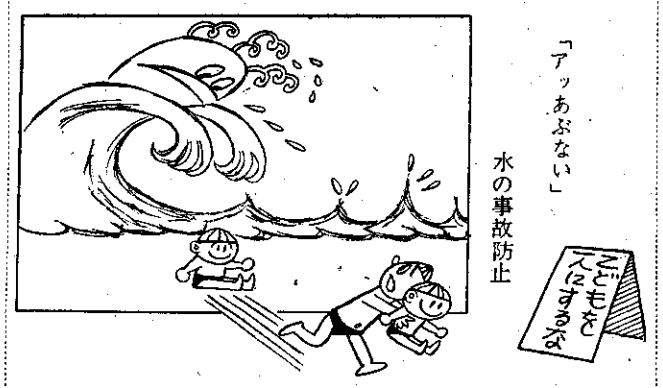
ねぎ

ねぎは、夏の暖かい間は非常に成育がおそいが、やや涼しくなつてくると、急に成育が早まつてきます。ねぎの白い部分を長くするためには、この時期がたいせつです。

この方法と注意としては、晩夏から初秋にかけて一度に多くの土寄せをすると、葉の成育、とくに白ねぎとなる部分が太るのをさまたげてしまいます。九月上中旬は暴風雨にいためられやすく、水が植えみぞに数日間たまるとくさつてしまうので、この時期までには植えみぞまでぐらいに土入れをしておき、その後涼しくなつてから、ふたたび土寄せするほうがよいでしよう

水あそびに注意を

暑いので子どものあそび場所は川に移ります。ぜつたい1人ではやらぬよう、また、たえず注意を与えてやりましよう。



水の事故防止

地下たびの長もち法

農作業には、やはり地下たびがすぐれているようです。地下たびを長もちさせるにはその手入れが必要です。

どろがついたら、小まめに水洗いをして、表面の水滴をふいて日陰干しにします。どろをつけたままで、日光に長くさらしておくと、ゴムが弱くなり、また、いくら洗つてもよごれがおちなくなつてしまいます。

内側の布の部分がぬれたときには、湿気がなかなかとれないから、使用後かわいた新聞紙をつめて、湿気を吸いとらせるようにします。新聞紙を二、三度取りかえると形もくずれず、かわきをはやめます。きれいにした地下たびはかわいたところに保管するようにします。

外食と栄養

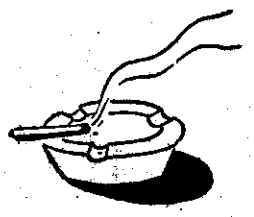
最近、私たちの生活が向上して、サラリーマンも手弁当のいわゆる腰弁が少なくなり、一般のご家庭でも外で食事をしたり、仕出し料理をとつたりする傾向が多くなつてきました。しかし、外でつくる食事は一般に食品の組合わせが片寄つて、栄養的に完全なものが、ほとんど見られません。

たとえば、カツドンをとつてみても、米のごはんと肉に少量のパン粉、油、卵、それに白菜の漬け物か、たくあんといつたものの合わせで、ビタミン源の野菜などがはなはだしく不足していますし、すしや天ぷら、うなぎどんのたぐいにしても食品の種類がひどく片寄つていて、外食で六種の基礎食品を完全にとろうというのは、きわめて困難です。

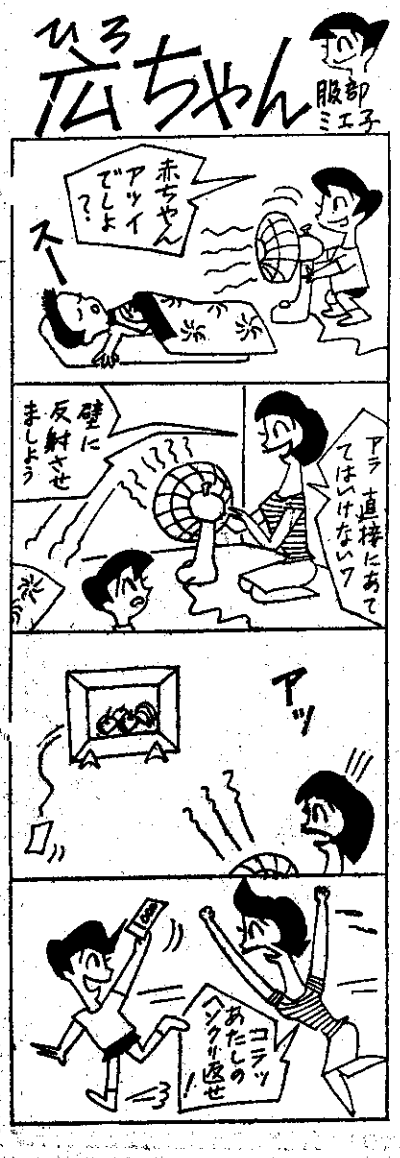
しかも外食は、あまり高級でない一般食堂でも家庭でつくる食事の倍以上高価につくし、といつて一ぱいのうどんやそばでは栄養のアンバランスはもとより、成人の一食に必要なカロリー七百～八百を確保することなど、とうてい望めません。

したがつて、おひるの外食で不足した栄養を家庭の夕食で補い、よる外食したら翌朝その不足分の補ないをつけるように、食生活にたえず栄養的な配慮をおこたらぬよう心がけたいものです。

タバコは町内で買いましよう



タバコ消費税は、町の大きな財源です。甘楽町で買えば、甘楽町にはいるのですから、必ず町内で買いましよう。このタバコ消費税は1本で約35銭です。



国連ポスターを募集

1. 趣旨…ポスター募集を通じて国連憲章、ユネスコ憲章および世界人権宣言の精神を会得し、基本的人権の尊重に立脚した国際理解と国際協力の必要性を強調しその意義の高揚をはかる。
2. 内容…前項の趣旨に基づいて国際連合やユネスコの精神、その実際活動、人権の尊重を表わした作品であること。

従つて、その表現には国連憲章、ユネスコ憲章、世界人権宣言の中にある字句を適当に押入すること。

※…作品には募集団体の固有の名称（たとえば「○○県本部」「○○協会」等）は書き入れないこと。

3. 応募の種別および資格
   A級…小学校児童
   B級…中学校生徒
   C級…高等学校生徒
   D級…一般と大学生
   （応募作品には住所、氏名、年令、職業、在校生は学校名及び学年を）
4. 大きさと材料…A級、B級及びC級は四ツ切（約39×55センチ）以下、D級は半さい（約54×78センチ）又は四ツ切。材料は5色以内でクレヨン、クレパス、水彩えのぐ、ポスターカラー、その他自由。
5. 締切期日、送り先…38年8月31日までに前橋市曲輪町66　群馬県広報文書課内日本国際連合協会群馬県本部へ。
6. 審査、入賞、発表…審査は県が学識経験者等に依頼して行なう。それによつて入賞者には賞状と賞品を贈るが、1等の作品は全国審査に参加する。

なお、入賞者は9月上旬上毛新聞に発表する。